

総務部長の仕事宣言！ 進行管理表

総務部長 野田 寿

[リープロの名称] 九州をリードするまちづくりプロジェクト
 [目標値] 新鳥栖駅利用者数 (H27) 9,590 人/日
 (リープロの概要) 世界最先端のがん治療施設である重粒子線がん治療センターの事業促進を行い、また、同施設を活用したメディカルツーリズムを推進することにより、九州をリードする取組を図っていく。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	重粒子線がん治療センターの事業推進のため、商工会議所と一体となり、市内企業への資金収集活動を実施するとともに、県、財団等と連携し、PR活動を推進した。メディカルツーリズムへの取組として、グランドクロス広域連携協議会において、医療資源活用研究部会が立ち上がった。
	自己評価	重粒子線がん治療センターを利用する患者数は順調に推移している。また、資金収集も市町村振興協会や、久留米市から支援をいただくことになり、一定の成果があった。なお、メディカルツーリズムの取組はまだ調査段階である。
	下半期への対応	重粒子線がん治療センターのPR活動及び資金収集活動について引き続き行う。広域での医療資源活用部会において、調査研究を更に行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計

* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

副市長の指示

上半期
 重粒子線がん治療センターのPR活動及び資金収集活動を引き続き行うこと。

下半期

リープロごとに1枚

総務部長の仕事宣言！ 進行管理表

総務部長 野田 寿

〔リープロの名称〕 広域連携のまちづくりプロジェクト

〔目標値〕 鳥栖・三養基地域との連携事業数（H27）5事業以上、
クロスロード圏域との連携事業数（H27）10事業

（リープロの概要） 鳥栖市を含めたこの地域の一体的な発展のため、周辺自治体と広域連携について検討する。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	鳥栖・三養基地域ビジョンに基づき、スポーツの共同観戦、防犯パトロール等の連携事業を行った。副市長・副町長級の「将来の在り方検討委員会」を開催し新たな連携事業について検討することとした。クロスロードビジョンに基づく、連携事業の具体的取組について各部会、勉強会の開催の承認を受けた。
	自己評価	鳥栖・三養基地域における連携事業は、新たな取組について検討することとしているが、先に進んでいない状況である。クロスロード地域での連携事業は、具体的な取組について、これから各市町の調整が必要となる。
	下半期への対応	それぞれの連携事業の実施に向け、推進を図っていく。また、鳥栖三養基地域の将来を見据えた広域連携の在り方を検討していく。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計

* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

副市長の指示

上半期

連携事業の着実な実施に加えて、新たな連携事業についても検討すること。

下半期

総務部長の仕事宣言！ 進行管理表

総務部長 野田 寿

〔リープロの名称〕 市民に信頼される市役所プロジェクト

〔目標値〕 行政革新度ランキング（H27）173位以上、部課長の仕事宣言の公表（H27）年3回HPでの公表、研修受講職員の割合（H27）91%

（リープロの概要） 情報化、行政改革の推進及び成果重視の行政運営の実現を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	部課長の仕事宣言またその公表を通じ成果重視の行政運営が図られるように努めた。また、職員の人材育成に向けて、各階層ごとの能力開発研修を実施した。
	自己評価	総合計画の実現に向けて部課長の仕事宣言を実施している。また、職員研修も当初計画に沿って実施できている。行政改革の具体的な取組については、検討を行っている段階である。
	下半期への対応	市民に信頼できる市役所を実現するため、情報化施策の実施や行革の推進に努めるとともに、職員の能力の向上を更に図っていく。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計

* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

副市長の指示

上半期

市政情報の発信については、正確・迅速に伝えること。

今後も市民に信頼される市役所の実現に向けた取り組みを推進すること。

下半期